イワダレゴケ科

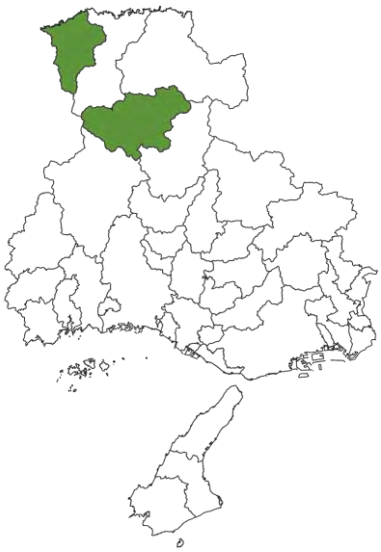
# イワダレゴケ

*Hylocomium splendens* (Hedw.) Schimp.

兵庫県ランク… C
環境省ランク… －

## ■ 県内分布

養父市、新温泉町



## ■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

## ■ 選定理由

| 人為性 | | 特殊性 | | 学術性 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 生育環境破壊 | | 特殊生育環境 | | 特殊な分布 | |
| 観賞用等採取 | | 特異な生態 | | 分布の限界 | |
| | | | | 希少 | ○ |

## ■ 特記事項

今後の調査により、氷ノ山を中心に産地が増える可能性がある。現状の調査が必要である。

## ■ 保護上の留意点

－

## ■ 種の概要

茎は密に規則正しく2-3回羽状に平らに分枝して美しい。新芽は前年の茎の中間から出て斜上し、再び羽状に分枝して明らかな階段状になり、長さ20cm以上のことがある。茎の横断面で中心束はなく、表面は細く枝分れした多くの毛葉で被われる。茎葉はややまばらで、長さ2-3mm、基部は平坦で、茎を抱かない。葉身部は卵形で急に細く屈曲した葉先となる。中肋はふつう2本。葉身細胞は線形で背面上端に小突起がある。枝葉は茎葉よりもずっと小さく、卵形で凹み、中肋は2本で中部以下で終わる。雌雄異株。蒴柄は長さ1-2.5cm。蒴は水平につき、やや曲がる。蓋には嘴がある。蒴歯は2列で完全。深山、とくに亜高山の針葉樹林の林床や岩上、腐木上にしばしば大きな群落をつくる。